

市長会見資料	平成 26 年 4 月 28 日
問 合 わ せ 先	政 策 部 政 策 室
	9 1 8 - 5 0 1 0

市長就任後の取り組み 4つのキーワードと市民目線での市役所改革

「市民幸福度日本一のまち 明石」を目指して、『こども』『地域』『安全』の3つのキーワードを市政運営の重点と位置づけ、直面する課題に対しスピード感をもって以下のような取り組みを実施しました。平成26年度からは『元気』をキーワードに加え、「まち」も「ひと」も元気になる施策を展開しています。

1 3つのキーワードにかかる主な取り組み

こども

○こども医療費助成の拡充（通院にかかる医療費を中学校3年生まで完全無料化）

これまで、通院にかかる医療費について、小学校就学前までおよび小学生のうち市民税非課税世帯のみ無料化していたが、平成25年7月から、中学3年生まで完全無料化（保護者の一部負担なし、所得制限なし）し、県内トップクラスの助成内容を実現。

○公共施設におけるこども利用料を無料化

子どもたちが明石の良さを実感しながら成長することを支えるため、平成25年4月から天文科学館（市内外問わず高校生まで）、文化博物館（市内外問わず中学生まで）、平成25年7月から明石海浜プール（市内在住・在学の小学生まで）の3施設の入場料を無料化。

○保育所分園の設置

待機児童の解消に向けて、貴崎、藤江、高丘東の市立3幼稚園の余裕教室に私立保育所分園を開設（平成24年11月）。また、利便性の高い明石駅、大久保駅近郊にそれぞれ保育所分園（明南、わかば第2）を開設（平成25年4月）。

○幼稚園の余裕教室を活用した預かり保育の実施

市民提案型パイロット協働事業として、幼稚園の余裕教室を活用した時間外保育を実施（平成24年度）。その実績を踏まえ、市立幼稚園2園（錦浦・大久保南）において、幼稚園の保育終了後に一定時間保育を行う、預かり保育を実施（平成25年度）。

○就学前の子育て環境の充実

就学前の子育て環境の更なる充実に向けて、就学前の教育・保育のあり方検討委員会を設置（平成24年12月）するとともに、明石市子ども・子育て会議を設置（平成25年9月）。

○中学校給食導入に向けた準備

中学校給食導入に向けて、学識者、公募市民などで構成する「中学校給食検討委員会」を設置するとともに、明石市中学校給食基本計画を策定（平成25年2月）。基本計画に基づき、東西2センター方式で実施することとし（平成25年3月）、実施に向けたモデル校3校（大蔵・高丘・魚住）を選定（平成25年8月）。

○こども養育支援相談に向けた取り組み

子どもの健全育成に大きな影響を及ぼす事案である、離婚時における子どもとの面会交流や養育費にかかる取り決めなど、離婚に関する問題を対象とした新たな相談業務の実施を検討（平成25年度）。

地域

○誰でも市長にもの言える会（市長懇談会）の開催

- ・平成23年7月から10月にかけて、全28小学校区で開催。約1,450人が参加し、意見交換を行うとともに、要望に対して文書で回答。
- ・平成24年2月に、テーマ別に計8回開催。子どもや健康などをテーマに、団体関係者や一般市民と意見交換を実施。
- ・平成24年5月から11月にかけて、予算の使い方や財政健全化をテーマに、高齢者大学等で計17回開催。
- ・平成25年6月に、市内5カ所で開催。これまでの市政運営を報告するとともに、これからの取り組みに向けた意見交換を実施。

○協働のまちづくりの仕組み構築に係るモデル事業の実施

市内の3小学校区において、地域ビジョンづくりやまちづくりの計画づくりを通じて、地域の組織強化を図り、地域における合意形成のシステムづくりを進めることを目的としたモデル事業などを実施（平成24年度～）。

○明石コミュニティ創造協会の体制強化

地域のまちづくり活動や市民活動団体を支援する中間支援組織として、一般財団法人明石コミュニティ創造協会の体制を強化（平成24年4月）。

安全

○市民の安全を第一に

- ・防災センターに安全・安心啓発コーナーを設置（平成23年7月）。
- ・市内の小学生3人がため池で亡くなった事故を契機に、市内107か所のため池などの緊急安全点検を実施。また、台風15号の影響で、魚住町清水の幣塚橋周辺の国道2号が陥没する被害が発生したことを契機に、市が管理する橋梁182橋の緊急安全点検を実施（平成23年9～10月）。

○障害者虐待防止センターの設置

障害の種別を問わない、地域における障害のある方の相談窓口として、基幹相談支援センター・障害者虐待防止センター「ほっと」を設置（平成24年10月）。

○通学路の安全対策

市内28小学校区で通学路における緊急合同点検を実施（平成24年7月）するとともに、安全対策を随時実施。

○保育所、学校園の耐震化の推進

保育所及び学校園施設の耐震化を推進（平成24年4月～平成26年3月）。

○犯罪被害者支援の充実

犯罪被害者に対してよりきめ細かな支援を行うため、相談窓口を市民相談課(当時)に一元化（平成24年4月）し、犯罪被害者等の支援に関する条例を改正（平成25年12月）。

○高度救助隊の発隊

大規模災害に備え、特殊資機材と専門的知識・技術を持つ救助隊員を配備した高度救助隊（愛称：ART135）を発隊（平成25年4月）。

○ハザードマップのリニューアル

東日本大震災を受け、国・県が示した南海トラフ巨大地震による被害想定に基づき、平成17年3月に作成した災害ハザードマップを全面改訂（平成26年3月）。

2 市役所改革の推進

○給与の適正化

- ・市長給与30%カットに続き、副市長給与16%カットを実施（平成23年度～）。
- ・一般職員の地域手当の引き下げを実施。平成24年度に10%から9.5%に。以降毎年度0.5%ずつ引き下げ、7.5%にする。
- ・部長級職員への「査定ボーナス及び昇給制度」の実施（平成25年12月）。

○コンプライアンスの徹底

- ・弁護士資格を持つ職員5名を採用。巡回・訪問法律相談を実施（平成24年4月）。
- ・平成23年10月および平成24年1月に、通勤手当等を不正受給していた職員を懲戒・分限処分。
- ・環境部職員の特殊勤務手当の不正受給について、内部調査、弁護士等外部委員による再調査を経て関係職員33名を懲戒処分（平成25年2月）。
- ・市全体の特殊勤務手当について、廃止も含めて全面的に見直し（平成25年4月）。

○分野横断的な組織の再編と適材・適所の人材配置

- ・高橋、和田両理事の副市長への登用（平成24年7月）。
- ・若手職員、女性職員の積極的登用（平成24年4月）。
- ・重点施策の推進体制の強化に向け、こども未来部・総合安全対策局の新設、コミュニティ推進部および保険・健康部の再編などを実施（平成24年4月）。
- ・明石駅前南地区の再開発および中心市街地の活性化に向け、政策部にまち再生室を設置（平成25年4月）。
- ・市民サービスのさらなる向上のため、専門性を持つ職員として、弁護士資格を持つ職員5名（平成24年4月）、社会福祉士4名・臨床心理士3名（平成25年4月）、天文職(学芸員)1名（平成25年10月）を採用。
- ・課題発見、政策形成能力の向上および職員のやりがいや自主性に重点を置いた新たな取り組みとして、政策立案プロジェクトチームを設置（平成25年7月）。

○財政健全化に向けた取り組み

- ・各中学校区のコミセン高齢者大学等において、「どう使いますか？みんなの予算」というテーマで市長懇談会を実施し、市民意見を聴取（平成24年5月～11月）。
- ・平成25年度予算編成において、イベントや助成など一部の事業を見直し。
- ・市行政と市議会が協力し、財政健全化に向けて幅広い観点から総合的に議論していくため、財政健全化推進協議会を設置（平成25年6月）。市に裁量のある事業の見直しについて、協議会での協議結果を平成26年度予算に反映。
- ・将来的に市の財政を圧迫する恐れがある土地開発公社について、第三セクター等改革推進債を活用し、解散（平成26年1月）。
- ・財政健全化の取り組みについて、市民参画の下で取り組みの着実な推進を図るため、財政健全化推進市民会議の設置に向けた条例を制定（平成26年3月）。

3 その他重要課題への取り組み

○レジ袋削減への取り組み

- ・市内飲食料事業者16業者と「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」を締結。食料品スーパーを中心に市内店舗の約9割において、レジ袋の無料配布を取り止め（平成24年4月）そして平成25年12月に新たに2店舗が協定に参加。

○明石産品、地域資源のブランド化

- ・明石産品のブランド化へ向けて、高槻市の百貨店やなんばグランド花月において、明石観光物産展を開催（平成24年6月、10月）。
- ・市民に明石の誇れる地域資源を身近に感じていただくため、広報あかしなどを通じて、「明石のたからもの」投票を実施し、第1位は明石市立天文科学館（平成25年1月）。
- ・料理を通じたまちおこし活動の日本一を競うB-1グランプリに「あかし玉子焼」が参加。
平成23年11月に開催された姫路大会では、全国63団体中10位入賞。
平成24年11月に開催された北九州大会では、全国63団体中9位入賞。
平成25年5月に岡山県津山市で開催された支部大会において2位を獲得。

○再生可能エネルギーの活用に向けて

- ・再生可能エネルギーのより一層の活用に向けて、廃棄物最終処分場跡地に民間企業と共同で大規模太陽光発電設備の設置を決定（出力1.7MW）し、一般家庭500世帯分の年間電気使用量を発電する第1期メガソーラーが完成（平成25年10月27日運用開始）。

○社会福祉協議会の充実

- ・地域福祉活動拠点の機能強化に向けて、社会福祉協議会の職員を増員するなど、充実化の実施（平成24年4月）。

○市政広報の充実（広報あかし、市ホームページのリニューアル）

- ・「広報あかし」について、より多くの必要な情報を盛り込むとともに、よりわかりやすい紙面とするため、カラー化・増ページなどリニューアルを実施（平成24年5月）。また、市ホームページについて、文字が多いトップページデザインから、画像やイラスト、アイコンなどを用いたページとするなど、利用者の視点からリニューアルを実施（平成25年5月）。

○さかなクンを「明石たこ大使」に任命

- ・明石のたからものである海と魚を全国にPRするため、魚について豊富な知識を持つ「さかなクン」を「明石たこ大使」に任命（平成25年8月）。

○保育所保育料・市営住宅家賃に寡婦控除のみなし適用の実施

- ・「ひとり親世帯」における、婚姻歴の有無による取扱いの違いを是正するため、市に裁量のある保育所保育料と市営住宅家賃について、婚姻歴のないひとり親家庭に対する寡婦（夫）控除のみなし適用を実施（平成25年10月）。

○捨てたらアカン！ミドリガメキャンペーンを実施

- ・市内のため池や河川で捨てられるなどしたミドリガメが大量繁殖し、生態系に影響を及ぼす危険があることから、自宅で飼えなくなったミドリガメを引き取るキャンペーンを実施（平成25年10月）。

○市民の声を踏まえた明石駅前南地区の再開発事業の見直し

- ・2度にわたるパブリックコメントや市民フォーラムなどにおける市民意見を踏まえ、市負担額を30億円削減するとともに、（仮称）市民図書館や（仮称）こども健やかひろばなど公共施設の内容を見直し（平成23年10月）。
- ・公募市民を含む各施設整備検討委員会の意見を踏まえ、（仮称）市民図書館や（仮称）こども健やかひろばのスペースを広げるフロア配置の見直しを行うとともに、新設された国の支援制度を活用し、市の負担額をさらに18億円削減（平成25年3月）。

○議会の円滑な運営、活性化

- ・平成24年1月に、市議会議長に対し、「市議会の円滑な運営及び活性化に関する要請」及び「市議会議員の定数等に関する要請」を実施。

○観光案内所の移設オープン

- ・明石駅のステーションプラザ明石内にあった「明石観光案内所」を同駅コンコースに移設し、リニューアルオープン（平成25年12月）。

○46年ぶりに元日から天文科学館を開館

- ・時のまち明石のシンボル「天文科学館」の魅力をさらに広く市内外に発信するため、元日から臨時開館（平成26年1月）。

○明石市後見制度支援連絡協議会の開催

- ・明石市における後見制度にかかる支援施策の一層の充実を図ることを目的に、明石市後見制度支援連絡協議会を設置（平成25年9月）。これまでに2回の連絡協議会を開催し、関係機関による意見交換等を実施。

4 平成26年度実施予定の主な取り組み

「市民幸福度日本一のまち 明石」の実現に向けて、従来の『こども』『地域』『安全』の3つのキーワードに、今年度は『元気』を加え、「まち」も「ひと」も元気になる施策を展開します。

元気

- 天文科学館夏休み特別展の開催
- 明石ダコや明石焼き、天文科学館など明石の魅力を全国へPR
- 大蔵海岸多目的グラウンドのオープン記念事業の実施
- 明石駅前南地区第一種市街地再開発事業の推進
- 明石港旅客船ターミナル（係留施設）の改修
- 病児保育事業の実施
- 犯罪被害者支援の充実
- こども養育支援等相談窓口の開設
- 生活困窮者自立促進支援モデル事業の実施
- 障害者の社会参加を支援（移動支援、同行援護事業の拡充）
- 新たな奨学金制度の検討
- 配偶者暴力相談支援センターの開設
- 後見制度活用への支援
- 総合福祉センター1Fの総合窓口化

こども

- 学力向上の推進
- 保育所の新規開設及び増改築
- 市立幼稚園における3歳児保育の試行
- 妊婦歯科健康診査費の助成
- 乳幼児健康診査未受診対策の実施
- 中学校給食実施に向けた施設整備
- すくすく明石っ子モデル事業の実施

地域

- （仮称）「地域事務局支援事業」の実施
- 「学校の安全対策モデル事業」に係る地域活動への支援
- 協働のまちづくりの仕組み構築に係るモデル事業の実施
- （仮称）明石市協働のまちづくり推進条例の検討
- 二見市民センターの施設整備
- 小学校区コミュニティ・センターの施設整備

安全

- 協力事業者との高齢者見守り協定の締結
- 災害時要援護者地図システムの構築
- 老朽家屋対策の実施
- 踏切道の安全対策
- 事前登録型本人通知制度の導入
- 災害用備蓄物資の充実等
- 消防車両の整備
- 市民会館外壁（東面・南面）の改修